

# すいさん山形

漁民と手をつなく広報誌

No. 373

令和5年 / 11月号

山形県漁業協同組合  
広報誌



水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業

# 規天丸進水

水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（浜の担い手漁船リース事業）を活用し、由良総括支所所属の佐藤一規船頭（規天丸、底びき網漁業、14トン）がこのたび秋田県男鹿市より、漁船を購入し、エンジン換装や整備を行いました。その事業費の半額が国からの支援です。

去る9月27日には、由良漁港にて進水式が行われ、水産関係者や家族、地元の仲間らとともに進水を祝いました。

規天丸の今後の大漁と安全操業をご祈願いたします。





後列右から池田敏行会長、進藤優一副会長

## 全国の小型いか釣り漁業者の経営安定と 操業継続を求め要請活動が行われました

去る 9 月 22 日(金)、水産庁長官室において全国の小型いか釣り漁業者の経営安定と操業継続を求める要請活動が行われました。

今回は全国いか釣り漁業協会の三国会長を始め、当県いか釣り漁業協会池田会長と進藤副会長他 5 名が水産庁長官室を訪問し、クロマグロによる被害の増加について、また、歴史的な不漁に見舞われているいか釣り漁業が存亡の危機にあること等を森水産庁長官に伝え、国の支援の必要性を強く求めました。

これに対し森長官からは「いただいた要望をしっかりと受け止め、どのようなことが出来るかを考え、できる限りのことを対応していきたい。」との回答をいただきました。

### 山形県機船底曳網漁業協議会

### 山形県へ要望書を提出



去る 10 月 17 日、当組合の底曳網漁業者からなる山形県機船底曳網漁業協議会の代表(志田正会長、佐藤誠副会長、佐藤栄一副会長)が、本間昭志組合長とともに県庁を訪問し、地主徹農林水産部長へ要望書を提出しました。

本県底びき網漁業は、世界的な経済不安と円安による燃油や資材の高騰、地球温暖化の影響による漁海況の変動により、厳しい状況にあります。今回の要望活動では、「庄内北前ガニ」のブランド化により高値で取引されるようになったズワイガニの今後の安定した漁獲確保と資源保護を図るため、ズワイガニ保護礁の鼠ヶ関沖底曳網漁場への整備をお願いしました。

### 人事異動のお知らせ

◆新規採用(令和5年10月10日付) 菅原 大喜〔念珠関総括支所〕

～令和6年度事業（予定）のお知らせ～

# 水産業成長産業化支援事業費補助金で 漁業者の意欲的な事業を支援します!!



県では、本県の水産業を持続し成長する魅力ある産業にしていくとともに、漁村及び内水面漁業地域の振興を図るため、市町村と連携し、漁業者等の意欲的な取組みに対するオーダーメイド型の支援を令和3年度から実施しています。今年度もたくさんのご応募をいただき、ありがとうございました。令和6年度も引き続きの支援を予定しています（令和6年4月公募、5月応募締め切り予定）。新たに取り組んでみたい事業構想をお持ちの方は、県漁協、最寄りの市町村の水産担当課、庄内総合支庁水産振興課で事業活用の相談に応じていますので、是非お早めにお問い合わせください。

## 1 応募資格

法人、個人、団体又はグループ（3人以上に限る。但し漁業士又は中核的漁業者を含む場合は2人以上）とする。

## 2 対象となる事業

山形県水産振興計画に掲げる「持続可能な海面漁業の基盤整備」「海面漁業の成長産業化に向けた経営基盤強化」「持続可能な内水面漁業・養殖業の振興」「県産水産物の利用拡大」「安全・安心で健全な水域環境の確保と活用」のいずれかに取り組む事業。

## 3 補助率

- 国の補助制度を利用しない場合  
漁業者等：県1/3以内、  
市町村1/6以上
- 国の補助制度と併用する場合  
漁業者等：県2/10以内、  
市町村1/10以上  
※合計で10割を超えないものとする

山形県農林水産部水産振興課  
水産業成長産業化担当  
TEL023-630-2478

お客様各位



# ATMの廃止のお知らせ



日頃よりJFやまがたをご利用いただき、誠にありがとうございます。このたび長年にわたりご利用いただいていた下記ATMは、信用事業の運用環境の変化に伴い廃止させていただくこととなりました。皆様には大変ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ATM廃止後は、本所・由良総括支所・念珠関総括支所の信用窓口をご利用いただきますよう、重ねてよろしくお願い申し上げます。

<b>ご利用停止年月日</b>	<b>令和6年3月29日(金) 15時</b>
<b>廃止するATM</b>	・吹浦支所    ・さかた総合市場 ・豊浦支所    ・念珠関支所 ※加茂出張所、由良総括支所及び温海出張所につきましては、先にご利用を停止させていただいております。

※不測の事態が生じた場合には、上記のご利用停止年月日に関わらずご利用を停止させていただく場合がございます。

**JF JFやまがた 山形県漁業協同組合**

# 新 人 紹 介



由良総括支所  
池田 竜朗

9月11日より由良総括支所に勤務している池田竜朗です。生まれは酒田で、小さい頃は父とよく釣りに

行っていたことで今でも魚が好きです。

小中学校のときは野球、高校ではバレーボールをしていましたが、最近は運動不足なので現場仕事で鍛えようと思います。

日々心がけている事は、当たり前のことですが、挨拶です。

まだまだ足りない点もあるかと思いますが、早く仕事を覚え皆様のお役に立てるように精進して参ります。どうぞよろしくお願い致します。



念珠関総括支所  
菅原 大喜

この度令和5年10月より山形県漁業協同組合 念珠関総括支所へ配属となりました、菅原大喜と申します。

都内の専門学校を卒業後、神奈川県飲食店で社員として働いておりました。帰郷後は下水処理や工業系など色々なジャンルの職場に勤めておりました。学生時代は、ラグビー部と野球部に入っていました。それも興味でスポーツ観戦をしたりしています。

漁業協同組合という全く経験のない新たな職種になりますが、いち早く仕事を覚えて皆様のお力添えできるよう努めていきますので何卒よろしくお願ひ申し上げます。

## 県漁協女性部 海浜クリーン運動及び ライフガードレディス LGLによる救命胴衣着用推進運動

去る9月26日(火)、鼠ヶ関地区において県漁協女性部主催の海浜クリーン運動及びLGLによる救命胴衣着用推進運動が実施されました。

この取り組みは昭和61年より続けられているもので、県漁協女性部が一体となり「未来に残そう青い海！」を合言葉に、庄内浜の環境保全と釣り客のマナー向上に努めるべく行われています。コロナ禍においても各支部ごとに少数で地先の浜の清掃をしながら釣り客への声掛けを行う等、工夫しながら継続して行われてきました。

今年度はようやく4年ぶりに吹浦支部から念珠関支部の部員が一堂に鼠ヶ関地区に会し、漁協職員や酒田海上保安部、鶴岡市職員等関係官庁総勢40名で、海岸清掃をするとともに釣り客や地元漁業者へ救命胴衣着用の声掛けを行いました。

1時間程かけてマリンパーク及び漁港内を清掃し、可燃ごみ80kg、金属ごみ3kgのごみが回収されました。参加された皆様大変お疲れ様でした。



灯油宅配

推進運動 展開中

## 灯油の配達

# 漁協で安心・納得

お近くの支所・出張所にお気軽にお電話下さい。

冬の暖房は断然  
灯油がオトク

吹浦支所 ☎ 0234-77-2501	加茂出張所 ☎ 0235-33-3328	温海出張所 ☎ 0235-43-3434
飛島支所 ☎ 0234-95-2014	由良総括支所 ☎ 0235-73-3011	念珠関総括支所 ☎ 0235-44-2100
さかた総合市場 ☎ 0234-24-5617	豊浦支所 ☎ 0235-73-3006	

JF 山形県漁業協同組合

# 酒保の海だより

酒田海上保安部から皆様のお役に立つ情報第十弾！！  
様々な安全対策を語るときに登場する“海の安全情報”について簡単にご紹介します

## 使ってますか？ “海の安全情報”

海の安全情報で提供している様々な情報

### 1 気象現況

日本沿岸の灯台等の航路標識で観測した気象情報(風向・風速・気圧・波高など)を30分間ごとに更新し、提供しています。



気象現況

### 2 気象警報・注意報等

気象庁が発表する気象警報・注意報等をリアルタイムに提供しています。

●提供情報  
特別警報、津波警報・注意報、気象警報・注意報、地方海上警報、電管注意情報



気象警報・注意報

### 3 緊急情報

海上保安庁が発表する緊急情報をリアルタイムに提供しています。

●提供情報  
●メール発射に関する情報  
●台風接近、津波の発生等に伴う港内における避難勧告等に関する情報  
●船舶衝突、油の流出等の海難・事故に関する情報  
●船舶の航行の制限・禁止に関する情報など



広域緊急情報



海難の発生

### 4 海上安全情報

海上工事・海上行事等による交通規制情報等を提供しています。



海上工事

### 5 ライブカメラ

航路標識等に設置したライブカメラの動画・画像を提供しています。



ライブカメラ

テレホンサービス



ホームページ  
電子メール



海上保安庁が運営する海の安全に対する総合情報サイトで、インターネットホームページや携帯電話・スマホで見られます、さらに配信登録(無料※通常の通信料はかかります)しておけば自動的に気象警報・注意報などの通知を受けられます。

また、台風や発達した低気圧に関連した港内の警戒や避難の勧告の発出・解除情報も登録しておけば通知されます。



閲覧・登録はこちらから



海の事件・事故は電話118番

酒田海上保安部



## 何でも魚ッティング



ケンサキイカ漁の先進地へ!

今年の夏はこれまでにないほどの猛暑でしたね。皆さんは体調を崩さずに過ごせたでしょうか。気温だけでなく、海水温も高く、8月の鶴岡市三瀬沖の平均表層水温は28.2℃と過去最高を記録しました。

こうした状況の中ですが、西日本が主産地のケンサキイカの漁獲量が、ここ数年で急激に増えてきています。将来の重要な資源になることをにらみ、7月にケンサキイカ漁業の先進地である山口県須佐に視察に行ってきました。現地では、活イカ用の蓄養水槽を見学したほか、山口県漁業協同組合須佐支店須佐一本釣船団の佐々木団長から、「漁は夜に行い集魚灯は10kw以下、3kw放電灯3基と1.5kwハロゲン灯6基を沖と沿岸で使い分ける」、「水深は100mを中心に魚群探知機で小魚の反応を見ながら変え、1時間かからなければ場所を移す」、「スツテは浮きスツテを使い、機械釣りではなく手釣りが主で「しゃくり」は無し、かかったら専用の巻取器で巻き上げる」、「釣りあげたケンサキイカは絶対に素手で触らない」といった漁法についての貴重なお話を伺うことができました。

先進地の情報を参考にしながら、山形県におけるケンサキイカの漁場形成要因の解明や漁法の開発に取り組み、活イカを含め資源の有効活用につなげたいと考えておりますので、ご協力よろしくお願ひします。 山形県水産研究所 海洋資源調査部 太田 稔章

ケンサキイカ水槽  
イカが壁にぶつからないように柿渋を塗っているそうです



ケンサキイカの刺身  
肉厚で甘みがありました



# 『JF共済』2023年度全国推進本部会長会議 本県念珠関総括支所共済推進の取り組みについて実践報告

10月26日(木)、東京都千代田区のベルサール神田を会場に『JF共済 2023年度全国推進本部会長会議』が開催されました。

議題として「JF共水連の現状」「2023年度上半期状況及び、下半期普及推進活動」について報告があったほか、今回は全国から今年度共済事業推進の好事例として、山形県漁業協同組合と鳥羽磯部漁業協同組合（三重県）の2組合の取り組みが選出され、実践報告がありました。

本県からは念珠関総括支所阿部勝樹支所長が『「浜のあんしんサポート運動」を活かした早期推進の取り組み』

と題して実践報告。「共済事業を行う上で「浜のあんしんサポート運動」の訪問活動は浜の声に耳を傾け、必要保障の提案を行うことで組合員・地域住民に寄り添い、保障で暮らしを守る為の重要な活動である。同時に、水揚げに頼らない組合事業経営において、共済事業推進を展開することによる安定的な事業収入が漁協経営も支えることが出来る。組合員のためが組合のためにもなることを管理職の立場として後進にも伝えていきたい」と自身の経験も踏まえて報告いただきました。

また、鳥羽磯部漁業協同組合（三重県）からは藤原隆仁常務理事が『共済事業の経営上の役割と取り組みについて』と題し実践報告。漁協経営において共済事業が重要な役割を担い、全役員・全職員での取り組みにより安定的な事業収入を得ることが出来ている現状など、本県の共済事業推進においても大変参考となる内容となりました。

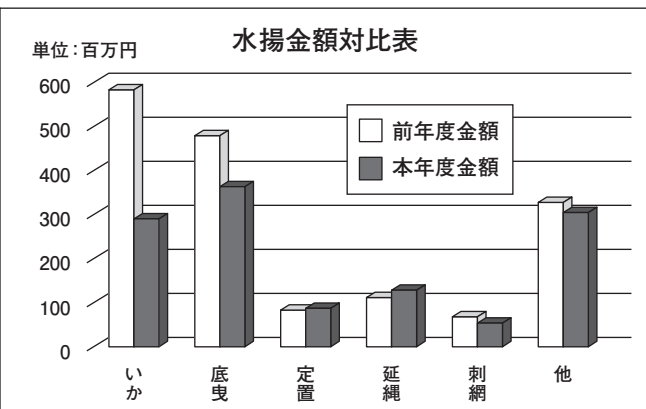
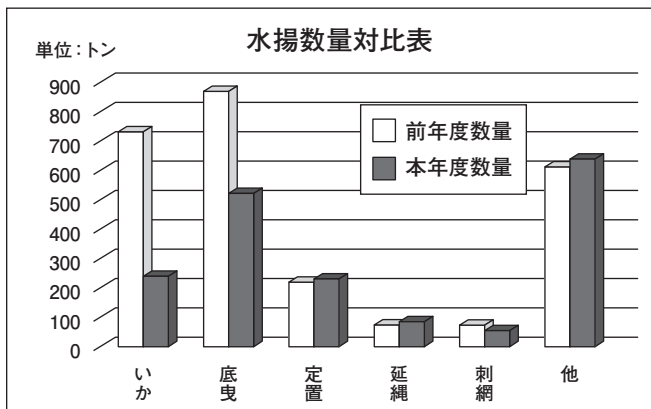


## 前年度水揚金額対比表

令和5年10月31日現在

(単位: kg, 千円)

	10月数量	本年度数量	前年度数量	数量増減	10月金額	本年度金額	前年度金額	金額増減
1 底曳網漁業	91,425	520,807	870,629	▲349,822	115,361	362,388	477,340	▲114,952
2 刺網漁業	5,832	52,354	71,911	▲19,557	7,614	53,323	67,548	▲14,225
3 いか一本釣漁業	64,329	130,789	407,415	▲276,626	48,569	111,635	242,787	▲131,152
4 船凍いか釣漁業	46,680	109,760	323,800	▲214,040	74,145	178,521	338,412	▲159,891
5 はえなわ漁業	5,518	81,373	75,951	5,422	4,840	127,106	111,180	15,926
6 ごち網漁業	6,502	81,013	90,197	▲9,184	5,417	59,404	56,701	2,703
7 定置網漁業	27,641	229,176	218,197	10,979	12,728	86,941	83,669	3,272
8 採貝藻漁業	5,927	80,560	64,008	16,552	4,229	67,504	56,957	10,547
9 その他の漁業	58,570	470,937	451,420	19,517	11,942	159,524	154,200	5,324
10 張網漁業	0	5,101	7,525	▲2,424	0	2,920	3,923	▲1,003
11 遊漁、直売、県外	0	0	0	0	2,013	15,909	53,468	▲37,559
合計	312,424	1,761,870	2,581,053	▲819,183	286,858	1,225,175	1,646,185	▲421,010

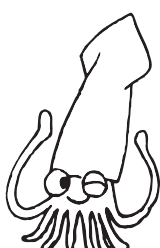


# 水揚情報

令和5年10月31日現在

(単位：千円)

区分	支所別	水揚合計	水揚地内訳							
			吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関
9月末迄水揚累計		924,420	48,115	37,059	323,401	79,219	117,904	84,403	23,100	211,219
月間水揚	県内船水揚	168,764	6,635	4,141	37,538	11,982	30,613	15,558	549	61,748
	県外船水揚	116,083	0	0	116,083	0	0	0	0	0
	合計	284,847	6,635	4,141	153,621	11,982	30,613	15,558	549	61,748
前年同月水揚		307,590	11,094	3,835	137,748	14,531	47,929	27,281	2,998	62,174
本年度水揚	県内船水揚	940,123	54,750	41,200	211,525	91,201	148,228	99,961	23,649	269,609
	県外船水揚	269,144	0	0	265,497	0	289	0	0	3,358
	合計	1,209,267	54,750	41,200	477,022	91,201	148,517	99,961	23,649	272,967
前年度水揚累計		1,592,721	56,016	46,326	712,793	91,200	175,958	102,108	24,831	383,489
増減		-383,454	-1,266	-5,126	-235,771	1	-27,441	-2,147	-1,182	-110,522
本年度水揚計画		2,560,000	105,000	79,000	1,066,000	145,000	328,000	200,000	34,000	603,000
達成率		47.2%	52.1%	52.1%	44.7%	62.8%	45.2%	49.9%	69.5%	45.2%

今あがっている魚			- 10月のベストテン -			前年対比 増↗減↘変らず→		
水揚金額(千円)				漁獲量(kg)				
1	するめいか	138,891 ↗		1	するめいか	134,419 ↗		
2	ずわいがに	34,362 ↘		2	べにずわい	51,210 ↗		
3	さけ	20,413 ↘		3	ぶり・いなだ	20,274 ↗		
4	女かに	18,639 ↘		4	たい	19,378 ↘		
5	ほっこくあかえび	15,430 ↗		5	女かに	9,791 ↘		
6	たいてい	14,655 ↘		6	ほっこくあかえび	8,938 ↘		
7	べにずわい	7,169 ↗		7	ずわいがに	8,330 ↘		
8	ぶり・いなだ	5,421 ↗		8	さけ	7,100 ↘		
9	さざえ	4,224 ↘		9	にぎす	6,213 ↗		
10	あまだい	3,138 ↘		10	さざえ	5,919 ↘		

●11月号の編集後記担当に当たりますと、開口一番「早いもので今年も残りわずかとなりました。」と書き出しますが、私も例に漏れずその心境です。なんと1年の早いことでしょうか。

このように、時間の流れが早く感じることを「ジャーネーの法則」と言っています。これは、「人生のある時期に感じる時間の長さは年齢の逆数に比例する」という法則で、いよいよアラフォーに足を踏み入れている私が、「1年早い(汗)」と焦りを感じるには理由があったわけですね。

●さて、今年は例年以上に天候の異常さを肌で感じています。11月に入っても海水温が高い状況が続いており、当組合を支える、スルメイカ漁は残念ながら長期的に大不漁に見舞われています。ようやく山形県沖に漁場が形成されつつありますが、今度は秋の訪れを告げるはずの鮭が、その姿を見せてくれません。

●季節の移り変わりが以前と少し違って感じるように、魚が獲れる時期も変化してきているのでしょうか。それとも、昔偶然付けたテレビで語っていた「日本の海に魚がいなくなる！」が本当になってしまっているのでしょうか。

●新たな資源管理方針について、検討会や意見交換会が全国各地で活発に行われているところで、この方針については全ての漁業関係者に寄り添ったものとなりますことを強く願っています。最後に、この4年間のコロナ禍、特に子供たちは窮屈でさみしい思いをしてきたことと思います。進級・進学、修学旅行に遠足、お祭りや家族との旅行：縮小に規制だらけの4年間でした。前出のように、大人には短く感じる1年は、子供達にとっては長い1年です。ことコロナ禍において余計に長く、息苦しさを感じるものだったと想像できます。

●この春、ようやくアフターコロナを迎え、子供たちから自由に当組合を見学していただきました。マイナス25度の立体冷蔵庫で嬌声を上げる子供たちを見て、私はとてもうれしくありません。コロナウイルスがなくなった訳ではありませんが、今後の子供たちにとって未来が明るいものであるように、また、将来漁業をしたいと思った時には豊富な海の資源が待っているように、心から祈っています。

●これからもいさん山形は皆様に寄り添い、充実した情報を提供できたらと考えておりますのでご意見・ご要望がございましたらご提供ください。よろしくお願いいたします。

編集後記

指導課 小川 美和

# 第7回 庄内浜魚まつり in 山形



令和5年10月9日(月・祝)に山形市の霞城セントラルで第7回庄内浜魚まつりin山形を開催しました。

念珠閣辨天太鼓創成会の勇壮な演奏、庄内浜文化伝道師による華麗なお魚さばき実演、長蛇の列が並んだエビ汁のふるまいといったイベントを行いました。

フードコートでは、鮮魚や揚げ物、浜焼き、蒲鉾といった庄内浜水産物を味わっていただきました。さらに今年は自分でその場で海鮮物を焼いて食べるバーベキューコーナーも設け、すぐに売り切れるほど大人気でした。

ほかにも、タッチプールや万華鏡づくり、貝殻キーホルダーづくりなど、山形市で庄内浜を楽しんでいただける場となりました。

これからも、庄内浜の魚をPRするためのイベントを開催していきますので、皆様のご協力をお願いいたします。

庄内浜の魚消費拡大総合プロジェクト推進本部  
(事務局：山形県農林水産部水産振興課) 水産加工・流通主査 青木 啓介

各地で様々な催しが開催されました!!

10月14日(土)・15日(日)の2日間にわたり鶴岡市小真木原公園にて「つるおか大産業祭り」が開催されました。

県漁協からは由良水産加工場が自慢の焼き物、揚げ物を持って参戦しました。

今回のメニューは、サザエつぼ焼き、イカ軟骨串焼き、イ貝串焼きの新メニューに加え、定番人気商品の、紅えび唐揚げ、あんこう唐揚げ、ミックスフライです!

土曜日は天候にも恵まれ、開店直後から長蛇の列で、「毎年、漁協の揚げ物を楽しみにしているの」と大変嬉しいお言葉もいただきました。

日曜日は、あいにくの空模様でしたが、こちらも開店と同時に沢山のお客様がいらっしゃいました!

「昨日も来て、美味しかったから今日も買いに来た」と庄内浜ファンも順調に増え、庄内浜の魚は美味しいと再確認できたイベントでした。

お手伝いいただいた皆様、連日の準備と当日の販売、大変お疲れ様でした。来年も庄内浜の魚をPR出来るよう、さらなる来場者が来ることを期待しております。

由良水産加工場長 代理 倉田 公平

## つるおか大産業祭り



## カニ・えび甲殻祭り



10月21日(土)、漁協念珠閣支所市場にて、カニ・えび甲殻祭りが開催されました。

雨が降ったり止んだりあいにくの天候でしたが、開場前からお客様が行列を作っていました。会場内では、茹でガニやエビ寿司など地魚を使った加工品販売が行われ、お客様は我先にとお目当ての品を買い求めていました。また、カニ汁・エビ汁も人気で、会場内で味わう親子連れの姿も見られました。

鶴岡地区年金友の会では、当会会員に「第6回Fish-1グランプリ」(2018年開催)で準グランプリとなった「庄内浜紅エビ丼」がふるまわれ、大変好評でした。

また、当日は念珠閣辨天太鼓子供会による、息のあった大迫力の太鼓演打に観客から大きな拍手が送られました。 念珠閣総括支所 鈴木 峰明

## 鶴岡市立斎小学校の5年生が見学に来ました!!



10月11日(水)に鶴岡市立斎小学校の5年生が社会科学習の一環として当漁協に見学に来ました。

5年生の社会科では、「漁業」に関する学習を行っており、漁業に携わる当漁協に対し見学の依頼があり、販売企画課の岡部太郎職員と指導課佐藤悠太郎が対応しました。

最初に座学を行い、地元庄内ではたくさんの種類の魚が獲れることや、様々な漁法があること、また漁協とはどんなところなのかを、クイズ形式や山形県の漁業紹介の動画を織り交ぜながら学習した後、立体冷蔵庫を見学し、冷凍いかや中型いか釣船の説明を行いました。

質問の中には、なぜ漁獲量が減ってきているのか、今と昔で獲れる魚種が変わっているか、漁船は何種類くらいあるのかなどの質問がありました。



生徒にはホワイトボードの絵とクイズが好評であり、最後の立体冷蔵庫では、マイナス25度を体験し、生徒からは「さむっ!!」、「やばーい!!」などの声が聞こえてきて、「楽しかった」「漁業や魚のことが勉強できてよかった」などの言葉もいただきました。

今回の見学を通して、少しでも漁業に興味を持ってもらい、魚を食べることをもっと身近にしてもらえたら嬉しく思います。

指導課 佐藤悠太郎